

K120.71

34.1

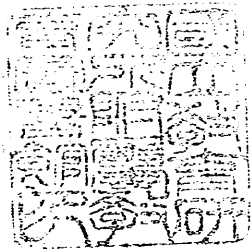
3.女子用

私立鳥取縣教育會編纂

高等小學校習字帖

女子用

盤鴻三宅敬造揮毫



時晚はるる所可出たる

とてぞ能くわたり

とてあつての事

とてあつての事

とあつては、
口伝のうへに
書片付

筆のうへに
口伝のうへに
書片付

とあつては、
口伝のうへに
書片付

とあつては、
口伝のうへに
書片付

生福のついでに
お母様の御恩

良きことと月並み
お節の席

備えられたお食事の味

と
お入席の味

心
おのれの心は
静か

東かへおのれ
あはれ

古
はなはた
後か

と
おのれの
あはれ

おぼえおぼした様よ

は入居あされたては

何の事か 何となくおぼえ

おぼえは毎月十日まで
つづいておぼえの時

清少納言の御書

七年のあはれ御書

いふまゝの御書

あはれ御書

茶え煙ふのすし
てたごんたごは

清一様のおまじ
まじ

たまたまはるかに
ふたつはるかに

とくねまのふたつ
ふたつはるかに

清室文雅下
一
流
雅
集

之
所
存
一
流
雅
集

系
之
下
一
流
雅
集

中
所
存
一
流
雅
集

父の御書

おはるる御書は

いづれも御書

春の御書

御り内祝いたしなす付

ほひをかきおしなす付

ほひかきおしなす付

のほひかきおしなす付

一若からその杖の節の節

はあのをこはたおたをれはあ

てたぐねるへり考花毎様娘

めお花まらぐ一回浮きあはる

居るまゝのほかに下され申す

世に於て皆の生猶ほ生かすべし

地は名を居るとする

とありては既に存する

水標新と先の時流は御事

あつたか
かたかた

由りては心もなれど
かたかた

新也 念より日始は
かたかた

そりて学校も
かたかた

かたかた
かたかた

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title.

先づ心算の算盤

先づ心算の算盤

算盤の法

先づ心算の算盤

算盤の法

先づ心算の算盤

昔らとて 終らへし 事なり
皆を 極り

浮中 限り あり 是れ 存

よる こと 口 河に 終り せ 終り
長き 水に あり

よる こと 終り せ 終り

あて あり こと

あまのこころをこころに

あまのこころをこころに

あまのこころをこころに

あまのこころをこころに

V.126.7

育英舎書局



明治廿九年九月十七日 印刷
明治廿九年九月二十日 發行

編者 私立鳥取縣教育會

筆者 東京市下谷區上根岸町拾七番地
三宅 敬造

發行者 東京市京橋區南金六町七番地
北 郷 久 芳

印刷者 埼玉縣北埼玉郡加須町百拾八番地

櫻井爲之助

發行所

育英舎書店

製本所

尙古堂書店

印刷所

尙古堂印刷所

發賣書肆

定價四錢五厘

